

いわた

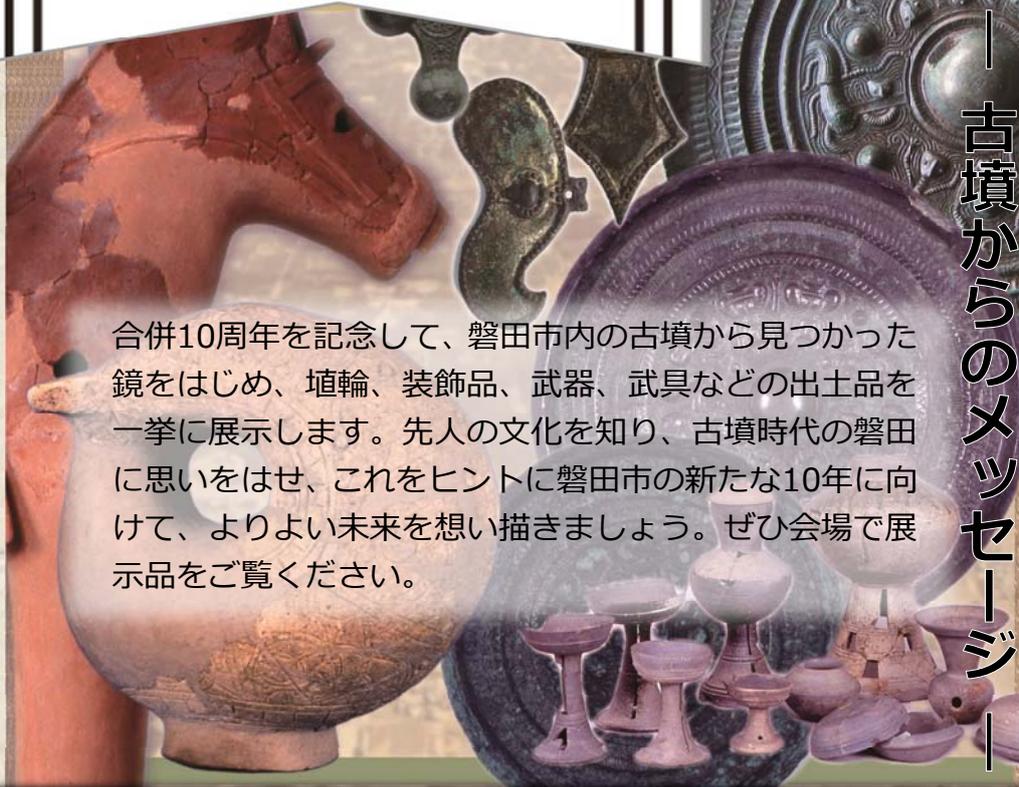
# 文化財だより 第124号

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成27年7月1日発行

## 目次

- 文化財課企画展 合併10周年記念企画  
「大磐田展—古墳からのメッセージ—」 P1~2
- いわたのこんなお話 池田やかた祭り . . . . . P3
- 文書館だより . . . . . P4
- コラム 『いぼとり地蔵に感謝!!』  
高畑 裕美 . . . . . P4

磐田市合併10周年記念  
平成27年度 文化財課企画展



合併10周年を記念して、磐田市内の古墳から見つかった鏡をはじめ、埴輪、装飾品、武器、武具などの出土品を一挙に展示します。先人の文化を知り、古墳時代の磐田に思いを寄せ、これをヒントに磐田市の新たな10年に向けて、よりよい未来を思い描きましょう。ぜひ会場で展示品をご覧ください。

—古墳からのメッセージ—

# 大磐田展

**とき** 平成27年7月25日(土)~8月30日(日)  
午前9時~午後6時  
(月曜休館、土日は午後5時まで)  
**ところ** 磐田市立中央図書館 展示室 (磐田市見付 3599-5)

### みどころ1

### 初公開！松林山1号墳出土 鏡2面

平成25年度に発掘調査を行った松林山1号墳(新貝)で、大正時代に出土したと伝えられる鏡2面を今回初公開します(個人所有)。



ちょうもんきょう  
←鳥紋鏡  
径 11.2 cm  
172g

不明瞭ですが  
鳥のもよう



ないこう かもんきょう  
←内行花紋鏡(日本製)  
径 9.2 cm  
76g

花びらのような  
もよう



10th ANNIV.  
IWATA CITY

## みどころ2

## 鏡せいぞろい

弥生時代の女王、卑弥呼が中国に遣いをやったときに、中国の皇帝から授けられたと言われている、三角縁神獣鏡が市内から5面見つかっています。このうち3面を展示します。市内で見つかっている鏡34面のうち、個人所有の鏡も含めおよそ20面を展示する予定です。



↑ 新豊院山2号墳  
(向笠竹之内)



↑ 経塚古墳  
(新貝)



↑ 連福寺古墳  
(二之宮)

このほかの鏡も勢ぞろいします！

## みどころ3

## 鏡だけじゃありません！その他いろいろ・・・

鏡のほかに、古墳が数多くある磐田市から出土した、豪華な副葬品の数々を一挙に展示します。

【県指定文化財】堂山古墳埴輪、鉄製品  
【市指定文化財】庚申塚古墳二神二獣鏡、車輪石、石釧、二子塚古墳馬具  
【その他】よろいかぶと（安久路2号墳）、馬具（甑塚古墳）、馬形埴輪、人物形埴輪（二子塚古墳） など

## 企画展記念講演会

邪馬台国研究の第一人者  
磐田の古墳を語る！

## 邪馬台国時代の遠江と古墳文化

講師：古代<sup>にわ</sup>瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長 赤塚 次郎 氏

と き 平成 27 年 8 月 9 日(日) 午後 2 時～3 時 30 分  
と ころ 磐田市立中央図書館視聴覚ホール  
定 員 申込み先着 150 名  
参加費 無料  
申込み 電話で文化財課へ TEL:0538-32-9699



所々でも、これから  
ずっと磐田



10th ANNIV.  
IWATA CITY

天竜川の渡船で栄えた池田地区。夏の盛り8月の上旬、熱い男たちの祭りが行われているのはご存知でしょうか。“池田やかた祭り”は江戸時代から引き継がれる伝統行事で、祇園祭りの祭礼のひとつとされています。今回は、市指定文化財の池田やかた祭りをご紹介します。



やかた祭りは池田渡船との関係が深いそうで、天竜川は水難事故が多かったため、川供養・厄流しを祈る祭りだといわれています。やかた（ワラ・竹・カヤで組み上げた大きな御輿のようなもの）にホオズキ提灯を飾り、若衆が川まで担ぎ、そこで火を放って焚き上げます。

神事は夕方から行われますが、やかたは当日の朝から組みます。池田の3地区が参加し、各地区でそれぞれやかたが組まれます。夕方、神主のお祓いを受けた後、お神酒とお米をやかたのワラに撒きお浄めします。やかたの提灯に火をいれて、いよいよ天竜川へ向けて出発。若衆が20人ほどでやかたを担ぐのですが、やかたはとても重く、バランスを崩さないように、息を合せて池田の町中を通る姿は圧巻です。やかたに乗せてあるホオズキ提灯には、各家庭の願い事が書いてあり、提灯を落とさないよう、若衆が天竜川まで必死に運びます。

提灯には、無病息災・家内安全の祈願と奉納者の干支・性別・名前などが書かれています。



やかたをかつぎ天竜川へ



天竜川河原に並ぶやかた



やかたが天竜川河原に並ぶ光景は、とても幻想的です。クライマックスは天竜川の本流までやかたを担ぎ入れ、ワラに火をつけ提灯ごと焚き上げます。大きな火柱が上がり、見ているこちらにも熱気が伝わるほどです。やかたは願い事を叶えるため、厄落としをするために、必ず全て燃やすそうです。

やかたを運ぶ若衆の迫力、やかたの美しさ、とても見応えのある祭りです。

今年のまつりは、8月2日(日)です。雨天の場合は、8月9日(日)に延期。



願いをこめ提灯が燃やされます



## 文書整理もデジタル化 しかし…

文書館だより



ドライクリーニングでの作業

文書整理には、目録作りや解読などの多くの作業があります。最近の資料整理は、デジタル化の方向です。資料目録をパソコンで入力し、資料をデジタルカメラ撮影やスキャンをしてデジタル化することで、資料を早く探せる、資料を傷ませない、職員が資料を出してくる時間が短くなるなどの利点があります。また、昨年度、歴史文書館では、「ドライクリーニングボックス」という、文書について目に見えないごみを取り除く機械を導入しました。これにより、職員が衛生的に、そして早く作業ができるようになりました。

しかし、まだまだ従来の方で作業することも多いのです。例えば、破れや虫食いの修理は、破れないよう慎重に、状態によっては、精製水など霧吹きや刷毛を使いながら少しずつ丁寧に広げ、のりで修復をします。職員が文書の状態を、1点1点、確認する作業もあります。また、古文書解読作業も、機械ではできず、一文字一文字読んでいき、解読不能のものについてはくずし辞典を使って確認しています。

文書は、多くの方々の努力で、その地域の歴史が今に伝えられてきました。歴史文書館では、従来の職員の手による整理方法にデジタル化を取り入れながら、大切な資料を後世に伝えていきます。

### コラム

## いぼとり地蔵に感謝！！

高畑 裕美

今思い出してもいまいましい、息子(3才)の体中に「水いぼ」ができたときの話です。静岡にある「いぼとり地蔵」に行ったら、あっという間に水いぼがなくなったという話を聞き、さっそく試してみました。

家の土で年の数だけ泥だんごを作り、静岡市清水区の住宅街の一角にあるお地蔵様へ…。そこにはすでに本物のだんごや泥だんごが供えられていました。本物のだんごはお礼参りのときだと聞いていたので、きょううちも治る！と期待を膨らませながら、泥だんごをお供えしました。そして息子本人がお地蔵様の体をなでてきました。よほどたくさんの方になでられたのでしょうか…お地蔵様の形は原形をとどめていませんでした。



いぼとり地蔵 (静岡市)

気になる効果ですが、水いぼは徐々に減り、2か月後には本当にきれいな肌になっていました。早々にだんごを買い、お地蔵様へお礼に伺ったことを覚えています。お地蔵様の効果だったのか、たまたま治るタイミングだったのか…そこはわかりませんが、水いぼでお悩みの方、試しにお参りしてみてもいいかがでしょうか。

あとで聞いた話では、磐田にも同じようないぼとりのご利益のある仏様があるとのことです。【雷三社(見付) 安楽寺(浜部) 大安寺(豊浜) 自満寺跡(東平松)・・・など】

編集後記

今年の夏、文化財課では3つの企画展を開催しています。百聞は一見にしかず…普段ご覧にならないものが盛りだくさんです。ぜひ足を運びください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部文化財課  
(磐田市埋蔵文化財センター)

住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1

電話：0538-32-9699

◆市ホームページからも WEB 版文化財だよりが閲覧できます